

令和元年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第2回学校運営協議会

□日 時：令和元年11月5日（火）18:30～20:00

□出席者：協議会委員6名、准校長、教頭、主査、生徒部長、教務部長、進路指導主事、記録担当者

□第一部：会長・准校長あいさつ、

□第二部：協議

◆第1回授業アンケート結果について（教頭より説明）

- ・「令和元年度 第1回授業アンケート（6月実施）」について説明
- ・生徒は授業や先生の対応について、概ね肯定的に受け止めており、学校で自分のやるべきことを理解していると感じている。
- ・本年度は授業改善の取組みとして、教員の横のつながりを深めることを目的に、他の教員の授業を見る機会を増やしている。

◆学校の状況報告（教務部・生徒部より説明）

【教務部】生徒数の推移、教務概要、出席率の推移など

【生徒部】生徒指導、特別活動、部活動、教育相談など

【進路部】進路状況（内定者等）、今後の取組みなど

◇委員からの意見

- ・先生が個別に生徒たちと丁寧に関わっていることが、生徒の居場所づくりに繋がり、結果、出席率の向上に表れていると感じる。
- ・薬物が街なかで売買されている現状があるため、学校で、しっかり注意喚起することが大切である。
- ・進路指導において、社会に出たら厳しいぞという指導ではなく、働くことでお金が入り、いろいろなことができるようになるなど、外に出ていきたいと思わせる話をしたほうがよい。
- ・無理強いはい、しなくてもよいから、校外に出る機会をできるだけ増やしたほうがよい。
- ・今年度SSWの派遣時間が大幅に増え、SSWが授業見学を含め、直接生徒と関わる機会が多くなり、長期休業期間には、外部機関とのつなぎ役として、担任とともに付き添うこともできている。

◆まとめ

○授業改善の取組みを活かし、少人数にあった授業展開ができるようアイデアを持ち寄り、少しでも生徒の学力向上につながるよう、教員間の繋がりを強めていきたい。

○先生が個別に、かつ丁寧に生徒対応していることで、学校が「生徒の居場所」となっている。年度後半も、引き続き取り組んでほしい。

○就職について、就職サポートやハローワーク、アルバイト等の経験など、生徒の心の準備に対するサポートが必要である。